

平成26年3月 定例委員会々議録

1 日 時 平成26年3月28日(金) 午後2時～

2 開催場所 会議室401

3 出席委員の氏名

委員 長	齋 藤 和 夫	委員長職務代理者	黒 川 優 子
委 員	山 崎 克 弥	委 員	中 野 信 男
委 員	秦 久美子	教 育 長	上 原 洋 一

4 欠席委員の氏名 なし

5 説明のため出席した職員

教 育 次 長	金 子 彰 男	主 幹	村 山 幸 一
学校教育課長	山 田 公 一	子育て支援課長	伊 藤 謙 治
生涯学習課長	服 部 雅 之	スポーツ推進課長	樋 口 太 弥 人

6 本委員会書記

学校教育課 猪股 加代子

7 傍聴人

三條新聞社

8 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄付報告
- (4) 共催・後援の教育長専決報告

協議題

- (1) 新規後援申請

議 案

- 議案第 10 号 平成 26 年度燕市立小学校及び中学校における学校医等の委嘱について
議案第 11 号 燕市学習支援員の勤務条件等に関する要綱の制定について
議案第 12 号 燕市地区公民館長の勤務時間等に関する要綱の制定について
議案第 13 号 燕市生涯学習推進本部設置要綱の制定について
議案第 14 号 燕市教育委員会告示式規則の一部改正について
議案第 15 号 燕市教育委員会組織規則の一部改正について
議案第 16 号 燕市教育委員会教育長の職務代理に関する規則の制定について
議案第 17 号 燕市教育委員会臨時職員に関する規則の制定について
議案第 18 号 燕市教育委員会処務規定の一部改正について
議案第 19 号 燕市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
議案第 20 号 燕市教育委員会公印規程の一部改正について
議案第 21 号 燕市英語指導助手の勤務条件に関する要綱の一部改正について
議案第 22 号 燕市適応指導教室指導員の勤務条件に関する要綱の一部改正について
議案第 23 号 燕市学校図書館司書業務嘱託員の勤務条件等に関する要綱の制定について

そ の 他

- (1) 市議会 3 月定例会一般質問について
- (2) 燕市教育行政評価結果報告書について

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後2時

2. 会議録署名委員の指名 山崎克弥委員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

《各課長が報告》

(2) 教育長報告

〈上原洋一教育長が報告〉

● はじめに

- 平成25年度、学校教育においては、さまざまな新規事業に取り組み、学力向上に一定の成果が表れ始めた。また、生涯学習関係では図書館の指定管理者制度がスタートして1年経過した。利用者数、貸出数については、昨年度より多くなっている。来年度も着実に課題に取り組んでまいりたい。
- 3月定例市議会報告(3月6日～11日) 18人中12人から教育関係に27本の質問があった。
 - いじめ防止対策推進法施行後、学校と家庭との対話の進め方について。現在学校ごとに策定中の「いじめ防止基本方針」に地域、保護者との連携を一層図る旨盛り込む。
 - 児童生徒の携帯スマホ対策について。市内小6は約37%、中3は47%が所持。ブログや掲示板への書き込みによるトラブルが年間数件発生し、市教委と学校とが連携して解決している。講演会等未然防止指導も実施。
 - 中学校における学力について。今年度学力向上対策数学プロジェクトを実施した結果、学力面で向上が見られ、教員相互の連携も進んだ。来年度は他教科でも実施予定。
 - 専門高校について。キャリア教育などにより主体的に進路選択できるよう指導しており、専門高校については県教委主催の「専門高校メッセ」に市内中学生が毎年参加し、高校ごとの体験入学も利用している。
 - 不登校について。小中学校の長期欠席児童生徒については教員の家庭訪問に加えて、心の教室相談員、ハートフル相談員、別室登校支援員等も学校と連携している。他に適応指導教室を設置して対応。
 - 中学校部活動のあり方について。加入状況は運動部65%、文化部24%。部活動はスポーツ文化及び科学に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感等を育てていくことに意義がある。
 - 燕市表彰式における学業で優秀な成績を収めた子どもの表彰について。学業分野でも表彰は可能。全国規模のコンクールなどで優秀な成績を収めた指導生徒が出たら表彰したい。

● **平成 26 年燕市成人式（3 月 16 日）**

- つばめ三条地場産業振興センターで開催され、対象 807 人中 641 人が参加。
- 新成人を代表し、朝倉諒さんは「社会を支える側になりたいことを自覚した。」山崎史織さんは「これまでの海外経験をもとに国際的な場で社会に貢献したい。」と力強く抱負を述べた。
- 市長式辞が始まると場内は静まり返り、聞き入る参加者の態度も立派だった。

● **長善館学習塾成果発表会（3 月 1 日）、Jack&Betty 海外親善大使帰国報告会（3 月 21 日）**

- 前者は 16 人の小学 6 年生による成果発表。さまざまな人々との出会い、自然とのふれあい、社会とのかかわり、グループ活動、宿泊体験活動等すべて直接体験をとおして協調性、自律性、課題を見つけ解決する能力、チャレンジ精神、知的好奇心などが育まれた。
- 後者はサンフランシスコ等で、各種施設・学校における燕市 PR 活動、語学教室参加、日本総領事館訪問、ホームステイを行ったことを報告するとともに、12 人の中学生からは英語の力をもっとつけることや将来の夢や希望に関する発表が相次いだ。
- どちらも来年度さらに充実させ、未来のつばめや日本をリードする人材の育成につなげたい。

○ **委員長（斎藤 和夫）**

長善館学習塾の成果発表会が 3 月 1 日開催された。今の子どもたちを見ていると、集団で生活する中で、いろいろな経験を会得することが重要であると思われるので、吉田地区は、5 年生妙高合宿を実施しているが、燕地区、分水地区においても、実施を検討してほしい。

(3) 寄附報告

《山田学校教育課長が 2 件、生涯学習課長が 2 件の寄附報告について報告》

(4) 共催・後援の教育長専決報告

《山田学校教育課長が 3 件の継続後援申請について報告》

4. 協議題

(1) 新規後援申請について

《山田学校教育課長が1件の新規後援事業について説明》
映画「渡されたバトン～さよなら原発～」

○委員（山崎 克弥）

その他の後援団体の名称に燕市の記載があるが、燕市はどのように考えているのか。

○次長（金子 彰男）

現在、総務課で検討中であるが、教育委員会の判断を参考としたいとのことである。

○委員（黒川 優子）

震災の影響により、原発の問題はホットな話題の最中であり、市、教育委員会が後援することは、映画の内容について政治色が濃くないと判断しても、今の時期は難しいと思われる。政治的な活動と捉えられ、教育委員会の後援はすぐわないと考える。

○次長（金子 彰男）

上映実行委員会が、どのように結成されたかを確認したところ、映画の地元の出演者により結成されたとのことであった。

○委員（黒川 優子）

映画に出演された方は、原発に対する思いがあって協力されたと思われる。

○次長（金子 彰男）

試写会の案内に、実行委員の中でも原発に対する考えはさまざまであり、お互いの考えや意見を尊重しながら、映画を一人でも多くの方に観ていただきたい。映画を観たうえで判断いただきとのことである。

○委員（山崎 克弥）

事務局で試写会を観られ、政治色が濃くないとのことでも中立的立場での制作がされた映画であれば、燕市も、柏崎原発の30キロ圏内に一部の地域が入るので、事故があれば影響する。情報提供として捉えて、後援を承認してもいいと考える。

○委員（秦 久美子）

事務局で試写会を観られ、ドキュメンタリー的なものであれば、後援の承認も考えられるが、映画のサブタイトルが「さよなら原発」と衝撃的なタイトルであるので、偏っ

た内容として見てしまう。

燕市も事故があれば、影響するので、原発は市民にとって興味のある内容であると考えられる。映画を観た人がいろいろな意見を出して、話し合っていく良い機会になるのであれば、後援承認してもいいと考える。

○委員（中野 信男）

教育委員会が後援することによって、市民はどの程度の重みのメッセージとして受け止めるのか。承認することとなると、どうしても積極的なメッセージとして受け止められてしまう。

後援承認しないことになると、承認しない理由が必要であるが、積極的に承認する立場ではないと考えられる。

メッセージの仕方を間違えると、本来の意図と違うものに捉えられてしまう恐れがある。

○委員（秦 久美子）

後援承認することとなると、サブタイトルが「さよなら原発」とあるため、市が原発反対と捉えられてしまう。たくさんの人に観てほしいと考えるが、サブタイトルだけで判断されてしまうことは心配である。

○委員（黒川 優子）

映画を観ることによって、考えるきっかけになることは、大変良いことと考えられるが、サブタイトルが気になる。

○委員（中野 信男）

サブタイトルが、間違ったメッセージを送るのではないかと心配である。

○委員長（齋藤 和夫）

映画を観ないで、承認する、しないの判断は難しい。

○委員（山崎 克弥）

配付資料だけで判断すると、原発反対の映画であると強く受ける。後援承認した場合、市民の方が、どれだけ多く、映画を観られるのか分からないが、教育委員会後援承認をした場合、市民の方から誤解を招きやすいことになると想定される。承認しないことも考えられる。試写会を観ての判断なので、誤解の可能性があるのであれば、承認しないことの判断が良いと思われる。

○委員長（齋藤 和夫）

委員の意見を集約すると、教育委員会の後援について、今回は見送りとさせていただきたい。

審議の結果、全員異議なく承認された。

5. 議案

議案第 10 号 平成 26 年度燕市立小学校及び中学校における学校医等の委嘱について

議案第 11 号 燕市学習支援員の勤務条件等に関する要綱の制定について

《山田学校教育課長が説明》

審議の結果、全員異議なく承認された。

議案第 12 号 燕市地区公民館長の勤務時間等に関する要綱の制定について

議案第 13 号 燕市生涯学習推進本部設置要綱の制定について

《服部生涯学習課長が説明》

審議の結果、全員異議なく承認された。

議案第 14 号 燕市教育委員会告示式規則の一部改正について

議案第 15 号 燕市教育委員会組織規則の一部改正について

議案第 16 号 燕市教育委員会教育長の職務代理に関する規則の制定について

議案第 17 号 燕市教育委員会臨時職員に関する規則の制定について

議案第 18 号 燕市教育委員会処務規定の一部改正について

議案第 19 号 燕市教育委員会事務決裁規程の一部改正について

議案第 20 号 燕市教育委員会公印規程の一部改正について

議案第 21 号 燕市英語指導助手の勤務条件に関する要綱の一部改正について

議案第 22 号 燕市適応指導教室指導員の勤務条件に関する要綱の一部改正について

議案第 23 号 燕市学校図書館司書業務嘱託員の勤務条件等に関する要綱の制定について

《山田学校教育課長が説明》

審議の結果、全員異議なく承認された。

その他

- (1) 市議会 3 月定例会一般質問について
- (2) 燕市教育行政評価結果報告書について

《山田学校教育課長が説明》

7. 閉 会 午後 4 時 2 0 分

委員長 齋藤和夫

会議録署名委員

会議録調整者
